

香川県立中央病院と糖尿病看護チームの活動紹介



香川県立中央病院は、2014年3月に朝日町に移転しました。病院の基本理念は、「私たちは、香川県の中核病院として安全・安心な医療を提供し、県民や地域医療機関から信頼される病院を目指します。」です。

糖尿病看護チームは、各病棟から1名ずつリンクナースを選出された16名で、部署内での糖尿病看護の中心的役割を担うとともに、病院内での活動も行っています。病院内における活動には、糖尿病教室とフットケア外来があります。

糖尿病教室は地域連携室横の会議室で7講座を1クールとして、月に2クール開催しています。講師は日本糖尿病学会専門医、臨床検査技師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、歯科衛生士、看護師の多職種で担当しています。看護師は、「フットケアーあなたの足は大丈夫？」と題し、1時間の講義を担当しています。講義前半はテキストを用いて糖尿病と足の関係、足の手入れのポイント、足を守るための日常生活の注意点などについて話し、後半は受講者の足を1人1人観察させていただき、足の状態の説明、必要なケアや履物などの助言をしています。足病変がある場合は、適切な処置や治療が受けられるよう主治医への報告や皮膚科受診を勧めています。

フットケア外来は、フットケア研修受講者と未受講者の2人がペアを組み実施しています。足の観察、アセスメント、ケアを実施し患者指導するとともに、リンクナースが自部署でフットケアが実践できるような経験の場ともなっています。今後も協力して活動していきたいと考えています。



